

早明浦ダム再生事業環境モニタリング委員会 第２回委員会

環境モニタリング計画と環境保全措置等

1. 基本方針
2. 環境モニタリング計画と環境保全措置等
3. 環境巡視チェックシート

令和５年８月２４日

独立行政法人水資源機構
池田総合管理所
早明浦ダム再生事業推進室

○基本方針

- ・環境レポートでは事前情報をもとに環境影響を予測し、保全措置を検討した。
- ・工事中には、予測した環境影響を検証するためにも、環境の監視モニタリングを実施する。
- ・また、計画されている保全措置は確実に実施し、保全措置の効果についても検証する。
- ・環境モニタリングの結果については、「早明浦ダム再生事業環境モニタリング委員会」で報告・確認し、必要に応じて新たな保全措置を講じるなど、順応的な管理を実施する。

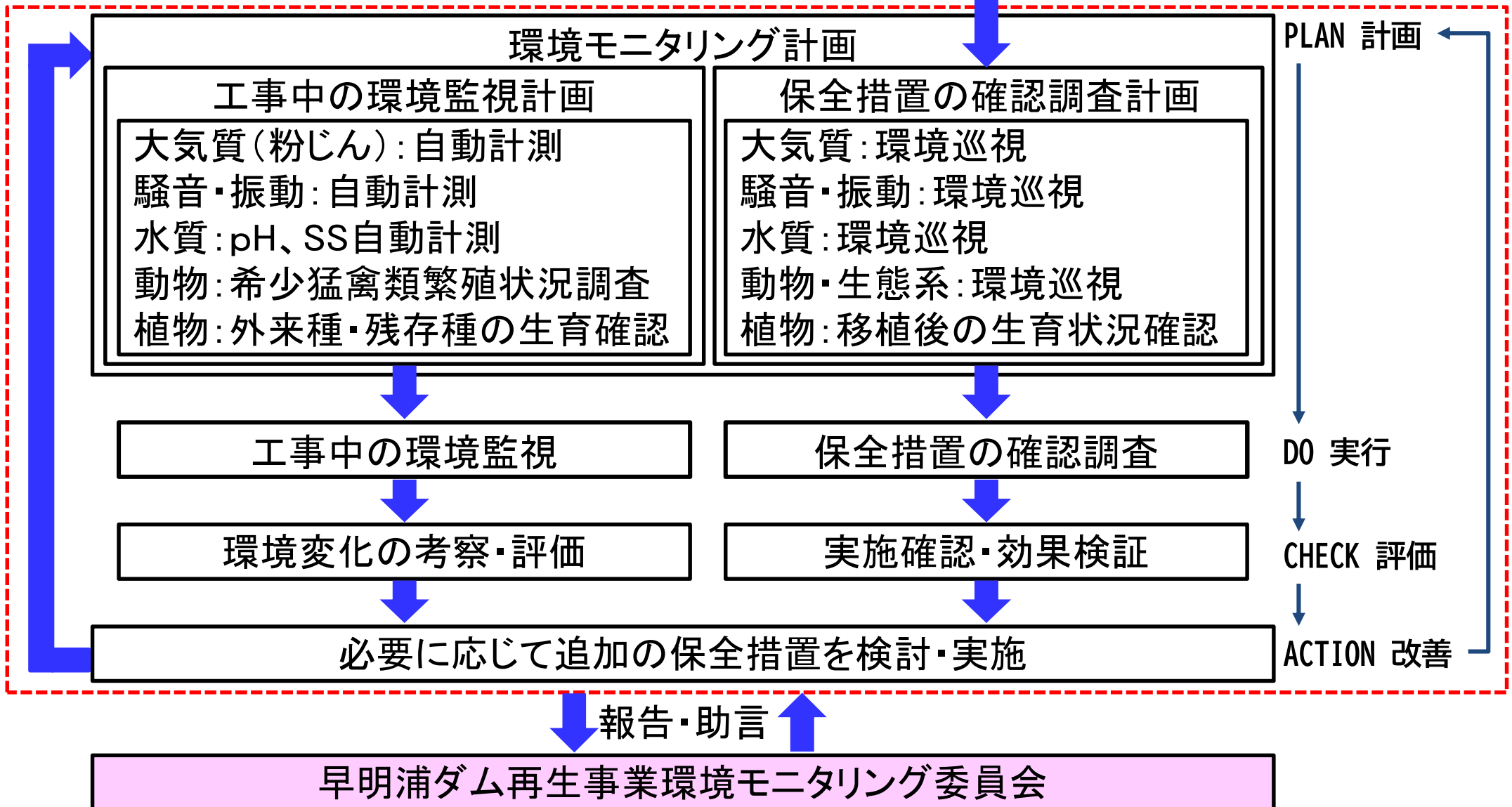
2. 環境モニタリング計画と環境保全措置等

○環境モニタリング・環境保全措置等のフロー

順応的管理

環境保全措置等

環境レポート時点の保全措置、
その他環境保全への取り組み



(1) 大気質 (粉じん)

■ 工事中の環境監視計画

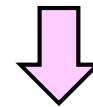
調査目的	工事の実施により発生する粉じんの影響を把握する。
調査項目	粉じん
調査地点	事業実施区域内のうち、保全対象の民家に近い位置で計測。
調査方法	1回/月(粉じん濃度計測)
順応的管理	・基準値を設定し、超えた場合には対策を講じる。 (基準値10t/km ² /月)

【参考】生活環境を保全する上での「降下ばいじんの寄与量」の目安(スパイクタイヤ粉じんの発生防止に関する法律の施行について(平成2年環大自第84号):20t/km²/月)から、降下ばいじん量の比較的高い地域の値(10t/km²/月)を引いた値(10t/km²/月)が管理上の目安となる。



■ 環境保全への取り組み

環境保全措置等	
環境レポート 時点の環境保全措置等	①散水 施工期間中、施工範囲において適宜散水等により粉じんの対策に努める。 ②工事用車両のタイヤ洗浄 工事用車両等が工事区域外へ出るときは、工事用車両のタイヤ洗浄によりタイヤに付着した泥等を落とすよう努める。 ③建設機械等の粉じん抑制に寄与できる効率的な稼働 ・できる限り建設機械等の稼働台数の集中を避け、粉じんの低減に努める。
その他	・バッチャープラント仮設ヤード及び骨材貯蔵ヤードにはアスファルト舗装を行い、散水車等で清掃を実施。 ・バッチャープラント、濁水処理プラント等の周囲に防じんネットを設置(吸音パネルと複合囲い)。



■ 保全措置の確認調査計画

調査目的	保全に関する取り組み内容について、実施状況を点検する。
調査項目	①散水状況。②タイヤ洗浄の実施状況。③建設機械等の効率的な稼働状況。その他：防じんネット設置状況。
調査地点	対策の実施箇所。
調査方法	環境巡視による現地確認。
順応的管理	実施されていない場合には、工事業者への指導を実施。

(1) 大気質 (粉じん)

■ 工事及び環境モニタリング・保全措置等の実施工程

区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
仮設備	仮設作業構台設置撤去	作業構台設置(ダム天端等)	作業構台設置(貯水池)		作業構台撤去	
	ダム施工機械設置撤去	ヤード造成、コンクリート設備設置				撤去
	上流仮締切	鋼製台座・アンカー等据付	扉体・側部戸当り据付(3号)	扉体移設・側部戸当り据付(2号)	扉体移設・側部戸当り据付(1号)	扉体取り外し、解体撤出
	下流仮締切		浮力対策工・鋼構造物設置等	予備ゲート開閉装置鋼製床板	予備ゲート開閉装置鋼製床板	撤去
	工事用道路	3号工事用道路(掘削・法面保護等)	2号工事用道路拡幅・3号工事用道路排水・舗装			
基礎掘削			主ゲート・一次減勢工部	二次減勢工部		
増設放流管	3号(BL9)	カットオフ 下流面チップング	下流面チップング	堤体削孔・貫通 充填部打設	基礎打設 主ゲート部等打設	予備ゲート建屋・下流面チップング 主ゲート上屋
	2号(BL10)		増打コンクリート	下流面チップング・基礎打設 堤体削孔・貫通	充填部打設 主ゲート部等打設	予備ゲート建屋・下流面チップング 主ゲート上屋
	1号(BL11)	増打コンクリート	下流面チップング・基礎打設		施設整備(予備ゲート・放流管) 施設整備(主ゲート) 施設整備(主ゲート)	施設整備(主ゲート) 施設整備(主ゲート) 施設整備(主ゲート)
	その他					施設整備(予備ゲート・放流管) 施設整備(主ゲート) 施設整備(主ゲート)
増設洪水吐減勢工			一次減勢工部	二次減勢工部等		
建設発生土受入地						
環境モニタリング計画	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
[工事中の環境監視計画] ・粉じん自動計測						
[保全措置の確認調査計画] ・環境巡視						
環境保全措置等	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
・散水						
・工事用車両のタイヤ洗浄 (外来種への対応含む)						
・建設機械等の粉じん抑制に 寄与できる効率的な稼働						

■ 基礎掘削が行われるため、特に配慮が必要な時期

※実施工程は、工事進捗に応じて変更する場合があります。

(2) 騒音・振動

■ 工事中の環境監視計画

調査目的	工事の実施により発生する騒音・振動の影響を把握する。
調査項目	騒音・振動レベル
調査地点	保全対象となる民家及び学校付近で計測。
調査方法	10分間隔自動計測(騒音・振動レベル)
順応的管理	<ul style="list-style-type: none"> 計測結果は電子掲示板で表示。 基準値を設定し、超えた場合には工事関係者にアラートメール送信、作業を中断して対策を講じる。 (基準値 騒音:85dB、振動:75dB)

【参考】騒音は「特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準(昭和43年11月27日厚・建告1号)」に基づく規制基準値は**85dB以下**に設定されている。
振動は、「振動規制法施行規則(昭和51年11月10日総理府令第58号)」による特定建設作業の規制に関する基準は**75dB以下**に設定されている。



■ 環境保全への取り組み

環境保全措置等	
環境レポート 時点の環境保 全措置等	<p>①低騒音・低振動型建設機械、騒音抑制工法等の採用</p> <ul style="list-style-type: none"> 低騒音型、低振動型の建設機械、工法等を利用し、騒音、振動の低減に努める。 バッチャープラント、濁水処理プラント等の周囲に吸音パネル等を設置(防じんネットと複合囲い)。 岩掘削作業には超低騒音ブラケットアセンブリを用いた油圧ブレーカ、バブルサイレンサーを併用。 コンクリートポンプ車とトラックミキサ車の周囲には防音テントを設置。 <p>②建設機械等の騒音・振動抑制に寄与できる効率的な稼働</p> <ul style="list-style-type: none"> できる限り建設機械等の稼働台数の集中を避け、騒音、振動の低減に努める。
その他	<ul style="list-style-type: none"> 資機材等の運搬に関して、できるだけ渋滞が発生しないよう計画的な運搬を行う。



■ 保全措置の確認調査計画

調査目的	保全に関する取り組み内容について、実施状況を点検する。
調査項目	<p>①低騒音型・低振動型建設機械の使用状況、防音パネル、防音ネットの設置状況。</p> <p>②建設機械等の効率的な稼働状況。</p> <p>その他：資機材等の運搬状況。</p>
調査地点	対策の実施箇所。
調査方法	環境巡視による現地確認。
順応的管理	実施されていない場合には、工事業者への指導を実施。

(2) 騒音・振動

■工事及び環境モニタリング・保全措置等の実施工程

区分		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
仮設備	仮設作業構台設置撤去	作業構台設置(ダム天端等)	作業構台設置(貯水池)			作業構台撤去	
	ダム施工機械設置撤去	ヤード造成、コンクリート設備設置					撤去
	上流仮締切	鋼製台座・アンカー等据付	扉体・側部戸当り据付(3号)	扉体移設・側部戸当り据付(2号)	扉体移設・側部戸当り据付(1号)	扉体取り外し、解体搬出	
	下流仮締切		浮力対策工・鋼構造物設置等	予備ゲート開閉装置鋼製床板	予備ゲート開閉装置鋼製床板		撤去
	工事用道路	3号工事用道路(掘削・法面保護等)	2号工事用道路拡幅・3号工事用道路排水・舗装				
基礎掘削			主ゲート・一次減勢工部		二次減勢工部		
増設放流管	3号(BL9)	カットオフ 下流面チップング	下流面チップング	堤体削孔・貫通 充填部打設	基礎打設 主ゲート部等打設	予備ゲート建屋・下流面チップング	主ゲート上屋
	2号(BL10)		増打コンクリート	施設整備(予備ゲート・放流管) 下流面チップング・基礎打設 堤体削孔・貫通 充填部打設	施設整備(主ゲート) 施設整備(主ゲート)	予備ゲート建屋・下流面チップング	主ゲート上屋
	1号(BL11)	増打コンクリート		下流面チップング・基礎打設	施設整備(予備ゲート・放流管) 堤体削孔・貫通 充填部打設	施設整備(主ゲート) 施設整備(主ゲート)	予備ゲート建屋等 主ゲート上屋
	その他					施設整備(予備ゲート・放流管) 施設整備(主ゲート) 施設整備(主ゲート)	管理用道路、付帯施設・周辺整備等
増設洪水吐減勢工			一次減勢工部		二次減勢工部等		
建設発生土受入地							
環境モニタリング計画	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	
[工事中の環境監視計画] ・騒音・振動自動計測							
[保全措置の確認調査計画] ・環境巡視							
環境保全措置等	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	
・建設機械等の騒音・振動抑制に寄与できる効率的な稼働							
・低騒音・低振動型建設機械、騒音抑制工法等の採用							

※実施工程は、工事進捗に応じて変更する場合があります。

■ 工事中の環境監視計画

調査目的	濁水処理施設の処理状況を把握する。
調査項目	SS、pH
調査地点	・濁水処理装置内 ・下流河川(吉田橋、本山橋)
調査方法	・濁水処理装置内で処理後の水質を自動計測 ・自動計測、定期調査
順応的管理	・濁水処理装置内には自動リターンシステムを追加。基準値を逸脱した場合は、工事関係者にアラートmailを送信するとともに、自動的に沈砂槽へリターンして、再処理を実施。(基準値:SS:25mg/L以下)

【参考】環境基準:SS 25mg/L以下(吉野川上流:河川AA類型)
環境基準:pH6.5以上8.5以下(吉野川上流:河川AA類型)



■ 環境保全への取り組み

環境保全措置等	
環境レポート時点の環境保全措置等	①既設放流設備(クレストゲート)を活用した放流 ※供用後の対策を予定
その他	・工事中の濁水については、濁水処理をしたうえで、排水。 ・濁水処理装置内には自動リターンシステムを追加。基準値を逸脱した場合は、工事関係者にアラートmailを送信するとともに、自動的に沈砂槽へリターンして、再処理を実施。

※工事中は濁水処理を徹底しますが、大雨等、濁水処理装置の処理能力を超える出水があった場合には、濁水が発生する可能性があります。



■ 保全措置の確認調査計画

調査目的	保全に関する取り組み内容について、実施状況を点検する。
調査項目	その他:濁水処理装置の稼働状況。
調査地点	対策の実施箇所。
調査方法	環境巡視による現地確認。
順応的管理	実施されていない場合には、工事業者への指導を実施。



(3) 水質

■ 工事及び環境モニタリング・保全措置等の実施工程

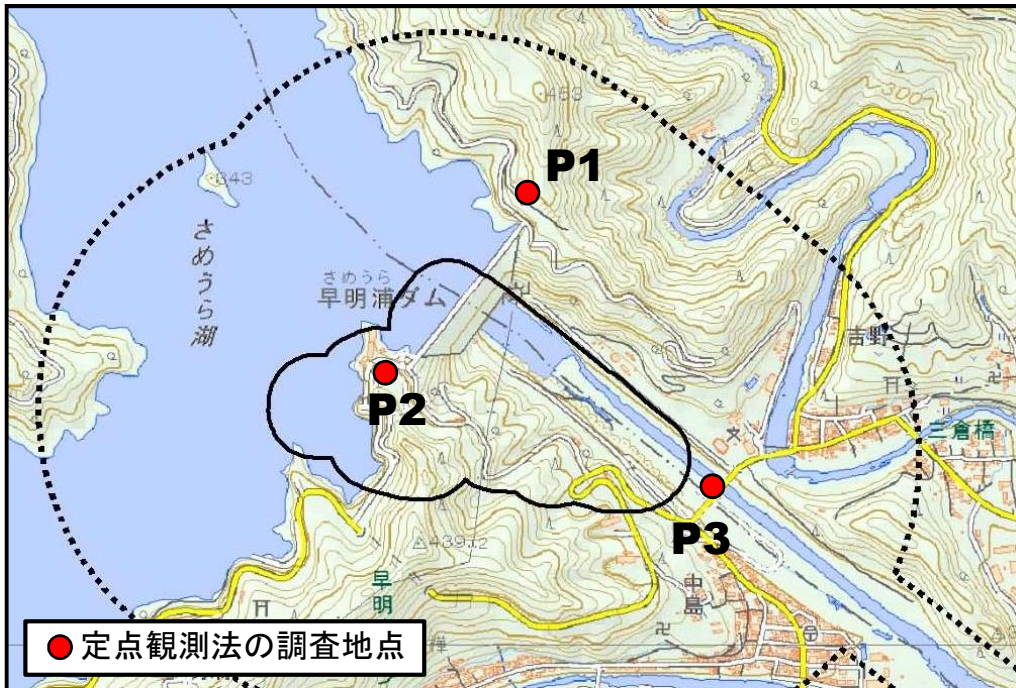
区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
仮設備	仮設作業構台設置撤去	作業構台設置(ダム天端等)	作業構台設置(貯水池)		作業構台撤去	
	ダム施工機械設置撤去	ヤード造成、コンクリート設備設置				撤去
	上流仮締切	鋼製台座・アンカー等据付	扉体・側部戸当り据付(3号)	扉体移設・側部戸当り据付(2号)	扉体移設・側部戸当り据付(1号)	扉体取り外し、解体搬出
	下流仮締切		浮力対策工・鋼構造物設置等	予備ゲート開閉装置鋼製床板	予備ゲート開閉装置鋼製床板	撤去
	工事用道路	3号工事用道路(掘削・法面保護等)	2号工事用道路拡幅・3号工事用道路排水・舗装			
基礎掘削			主ゲート・一次減勢工部		二次減勢工部	
増設放流管	3号(BL9)	カットオフ 下流面チップング	下流面チップング	堤体削孔・貫通 充填部打設	基礎打設 主ゲート部等打設	予備ゲート建屋・下流面チップング 主ゲート上屋
	2号(BL10)		増打コンクリート	下流面チップング・基礎打設 堤体削孔・貫通	施設整備(予備ゲート・放流管) 施設整備(主ゲート) 施設整備(主ゲート)	予備ゲート建屋・下流面チップング 主ゲート上屋
	1号(BL11)	増打コンクリート		下流面チップング・基礎打設	施設整備(予備ゲート・放流管) 施設整備(主ゲート)	予備ゲート建屋・下流面チップング 主ゲート上屋
	その他				施設整備(予備ゲート・放流管) 施設整備(主ゲート) 施設整備(主ゲート)	管理用道路、付帯施設・周辺整備等
増設洪水吐減勢工			一次減勢工部		二次減勢工部等	
建設発生土受入地						
環境モニタリング計画	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
[工事中の環境監視計画] ・濁水自動計測						
[保全措置の確認調査計画] ・環境巡視						
環境保全措置等	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
・工事中の濁水処理						

※実施工程は、工事進捗に応じて変更する場合があります。

(4) 動物・生態系

■ 工事中の環境監視計画

調査目的	事業実施区域周辺で繁殖が確認されている希少猛禽類の繁殖状況を把握する。
調査範囲・地点	事業実施区域の境界から3km程度の範囲 調査地点は3地点
調査方法	定点観測法 <ul style="list-style-type: none"> ・3日連続／回、日中8時間程度 ・3地点のうち、出現状況に応じて2定点で実施。 ・出現状況に応じて移動観測を実施。 ・調査時期：11月～4月・月1回 ※繁殖が確認された場合は、6月～8月を追加実施
順応的管理	・繁殖中に繁殖を阻害するような忌避行動等を確認した場合は、作業を中断して対策を講じる。



■ 環境保全への取り組み

環境保全措置等	
環境レポート 時点の環境保 全措置等	①希少猛禽類の工事中監視 ・既往調査で繁殖が確認されている希少猛禽類の繁殖状況を監視する。※工事中監視として実施 ②騒音、振動の影響抑制 ※騒音・振動対策として実施。 ③森林伐採における配慮 ・森林伐採は片方向から段階的に伐採。 ④生物に配慮した夜間照明 ・夜間照明は夜間の施工中のみ点灯する。 ・夜間照明器具はルーバー付き照明器具等を使用。 (例：照明角度を30°に制限、LED照明の使用。) ⑤残存する生息環境の攪乱に対する配慮 ・改変区域周辺の環境を必要以上に攪乱しないように工事関係者の工事区域周辺部への立ち入りを制限。



■ 保全措置の確認調査計画

調査目的	保全に関する取り組み内容について、実施状況を点検する。
調査項目	③森林伐採における配慮状況。 ④夜間照明の設置状況。 ⑤周辺環境の攪乱に対する配慮状況。
調査地点	対策の実施箇所。
調査方法	環境巡視による現地確認。
順応的管理	実施されていない場合には、工事業者への指導を実施。

(4) 動物・生態系

■ 工事及び環境モニタリング・保全措置等の実施工程

区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度			
仮設備	仮設作業構台設置撤去 作業構台設置(ダム天端等)	作業構台設置(貯水池)			作業構台撤去				
	ダム施工機械設置撤去 ヤード造成、コンクリート設備設置					撤去			
	上流仮締切 鋼製台座・アンカー等据付	扉体・側部戸当り据付(3号)	扉体移設・側部戸当り据付(2号)	扉体移設・側部戸当り据付(1号)	扉体取り外し、解体搬出				
	下流仮締切 鋼管矢板・コルゲートセル設置	浮力対策工・鋼構造物設置等	予備ゲート開閉装置鋼製床板	予備ゲート開閉装置鋼製床板		撤去			
	工事用道路 3号工事用道路(掘削・法面保護等)	2号工事用道路拡幅・3号工事用道路排水・舗装							
基礎掘削		主ゲート・一次減勢工部		二次減勢工部					
増設放流管	3号(BL9) カットオフ 下流面チップング	下流面チップング	堤体削孔・貫通	充填部打設	基礎打設	主ゲート部等打設	予備ゲート建屋・下流面チップング	主ゲート上屋	
	2号(BL10)	増打コンクリート	下流面チップング・基礎打設	堤体削孔・貫通	充填部打設	主ゲート部等打設	予備ゲート建屋・下流面チップング	主ゲート上屋	
	1号(BL11)	増打コンクリート	下流面チップング・基礎打設		下流面チップング・基礎打設	堤体削孔・貫通	充填部打設	主ゲート部等打設・予備ゲート建屋等	主ゲート上屋
	その他				施設整備(予備ゲート・放流管)	施設整備(主ゲート)	施設整備(主ゲート)	施設整備(主ゲート)	施設整備(主ゲート)
増設洪水吐減勢工			一次減勢工部		二次減勢工部等				
建設発生土受入地									

環境モニタリング計画	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
[工事中の環境監視計画] ・希少猛禽類調査						
[保全措置の確認調査計画] ・環境巡視						

環境保全措置等	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
・森林伐採における配慮						
・希少猛禽類の工事中監視						
・生物に配慮した夜間照明						
・残存する生息・生育環境の攪乱に対する配慮						

■ 希少猛禽類繁殖期に堤体上部の工事があるため配慮が必要

※実施工程は、工事進捗に応じて変更する場合があります。

■ 工事中の環境監視計画

調査目的	残存する植物の生育状況や外来種の侵入状況を把握する。
調査範囲・地点	事業実施区域及びその周辺
調査方法	生育状況確認 <ul style="list-style-type: none"> ・年1回程度 ・残存するヒナラン、カンアオイ類の生育状況を確認する ・外来種の侵入状況を記録する
順応的管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒナランやカンアオイ類の生育状況に悪化が見られた場合には、移植などの対策を検討する。 ・事業実施区域及び周辺に外来種の侵入・分布拡大がみられた場合には、駆除などの対策を検討する。

■ 環境保全への取り組み

環境保全措置等	
環境レポート 時点の環境 保全措置等	①重要な植物の移植 ・直接改変地に生育するゴショイチゴ、ユキモチソウ、シランを移植 ゴショイチゴ: 2021年12月10日に移植済み ユキモチソウ: 2021年12月9日に移植済み シラン: 2023年1月5日～6日に移植済み ②外来種への対応 ・工事箇所の出入りにおけるタイヤ洗浄等を行う等、外来種を持ち込まないように努める。 ③残存する生育環境の攪乱に対する配慮 ・改変区域周辺への工事関係者立ち入り制限。とくにヒナランは工事箇所に近いため、生育するコンクリート壁をマーキングし、改変しないように十分配慮する。[対策中(左下写真)]



■ 保全措置の確認調査計画

調査目的	① 移植した植物の生育状況を把握する。 ②・③ 保全に関する取り組み内容について、実施状況を点検する。
調査項目	① 移植した植物の生育状況の確認。 ② 外来種の対策状況。 ③ 周辺環境の攪乱に対する配慮状況。
調査地点	① 移植実施箇所。 ②・③ 対策実施箇所。
調査方法	① 移植植物の開花期に生育状況（生育株数、開花個体数）を記録。 ②・③ 環境巡視による現地確認。
順応的管理	① 状況に応じて再移植等を検討。 ②・③ 実施されていない場合には、工事業者への指導を実施

※重要種の位置を特定できるため、非公開

ヒナラン生育箇所における保護対策

(5) 植物

■ 工事及び環境モニタリング・保全措置等の実施工程

区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
仮設備	仮設作業構台設置撤去	作業構台設置(ダム天端等)	作業構台設置(貯水池)		作業構台撤去	
	ダム施工機械設置撤去	ヤード造成、コンクリート設備設置				撤去
	上流仮締切	鋼製台座・アンカー等据付	扉体・側部戸当り据付(3号)	扉体移設・側部戸当り据付(2号)	扉体移設・側部戸当り据付(1号)	扉体取り外し、解体搬出
	下流仮締切		浮力対策工・鋼構造物設置等	予備ゲート開閉装置鋼製床板	予備ゲート開閉装置鋼製床板	撤去
	工事用道路	3号工事用道路(掘削・法面保護等)	2号工事用道路拡幅・3号工事用道路排水・舗装			
基礎掘削			主ゲート・一次減勢工部		二次減勢工部	
増設放流管	3号(BL9)	カットオフ 下流面チッピング	下流面チッピング	堤体削孔・貫通 充填部打設	基礎打設 主ゲート部等打設	予備ゲート建屋・下流面チッピング 主ゲート上屋
	2号(BL10)		増打コンクリート	施設整備(予備ゲート・放流管) 下流面チッピング・基礎打設 堤体削孔・貫通 充填部打設	施設整備(主ゲート) 施設整備(主ゲート) 主ゲート部等打設	予備ゲート建屋・下流面チッピング 主ゲート上屋
	1号(BL11)	増打コンクリート		下流面チッピング・基礎打設	施設整備(予備ゲート・放流管) 堤体削孔・貫通 充填部打設	施設整備(主ゲート) 施設整備(主ゲート) 主ゲート部等打設・予備ゲート建屋等 主ゲート上屋
	その他				施設整備(予備ゲート・放流管) 施設整備(主ゲート) 施設整備(主ゲート)	管理用道路、付帯施設・周辺整備等
増設洪水吐減勢工			一次減勢工部		二次減勢工部等	
建設発生土受入地						
環境モニタリング計画	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
[工事中の環境監視計画] ・残存植物・外来種生育状況確認						
[保全措置の確認調査計画] ・植物移植後生育状況確認						
[保全措置の確認調査計画] ・環境巡視						
環境保全措置等	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
・直接改変範囲内の重要な植物の移植	令和4年度12月～令和5年1月に実施済み					
・外来種への対応(工事用車両のタイヤ洗浄)						
・残存する生育環境の攪乱に対する配慮						

※実施工程は、工事進捗に応じて変更する場合があります。

(6) 人と自然との触れ合いの活動の場

■ 環境保全への取り組み

環境保全措置等	
環境レポート 時点の環境 保全措置等	①インフラツーリズムの開催 ・工事現場の見学会を開催し、ダム見学者の利用性を確保します。 ※見学会では、早明浦ダム再生事業の必要性や環境への取り組みも周知します。



■ 保全措置の記録

調査目的	保全に関する取り組み内容について、実施状況を点検する。
調査項目・ 調査方法	インフラツーリズムの実施状況記録。



インフラツーリズムの内容は、
他ダムの事例等も踏まえ、
現在検討中

インフラツーリズムの事例	
川上ダム工事現場見学会 	予約受付: 事前予約必要 ※原則第3日曜日に実施 所要時間: 約2時間 ※全35回実施(H30.12~R3.10) 出典: 川上ダムHP https://www.water.go.jp/kansai/kawakami/joho/kengakukai/index.htm
足羽川ダム現場見学会 	予約受付: 1か月前までに事前予約 所要時間: 2時間程度 (現地: 午前10時~12時) 出典: 足羽川ダム工事事務所HP https://www.kkr.mlit.go.jp/asuwa/about/index12.php
設楽ダム工事現場見学体験 	予約受付: 開催日の1か月前 開催日: 平日限定 所要時間: 1時間~1時間半 (要相談) 出典: 奥三河観光ナビ: https://www.okuminavi.jp/taikan/detail/1130

(6) 人と自然との触れ合いの活動の場

■ 工事及び環境モニタリング・保全措置等の実施工程

区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
仮設備	仮設作業構台設置撤去	作業構台設置(ダム天端等)	作業構台設置(貯水池)		作業構台撤去	
	ダム施工機械設置撤去	ヤード造成、コンクリート設備設置				撤去
	上流仮締切	鋼製台座・アンカー等据付	扉体・側部戸当り据付(3号)	扉体移設・側部戸当り据付(2号)	扉体移設・側部戸当り据付(1号)	扉体取り外し、解体搬出
	下流仮締切		浮力対策工・鋼構造物設置等	予備ゲート開閉装置鋼製床板	予備ゲート開閉装置鋼製床板	撤去
	工事用道路	3号工事用道路(掘削・法面保護等)	2号工事用道路拡幅・3号工事用道路排水・舗装			
基礎掘削			主ゲート・一次減勢工部	二次減勢工部		
増設放流管	3号(BL9)	カットオフ 下流面チップング	下流面チップング	堤体削孔・貫通 充填部打設	基礎打設 主ゲート部等打設	予備ゲート建屋・下流面チップング 主ゲート上屋
	2号(BL10)		増打コンクリート	下流面チップング・基礎打設 堤体削孔・貫通	施設整備(予備ゲート・放流管) 施設整備(主ゲート) 施設整備(主ゲート)	予備ゲート建屋・下流面チップング 主ゲート上屋
	1号(BL11)	増打コンクリート		下流面チップング・基礎打設	施設整備(予備ゲート・放流管) 施設整備(主ゲート) 施設整備(主ゲート)	予備ゲート建屋・下流面チップング 主ゲート上屋
	その他				施設整備(予備ゲート・放流管) 施設整備(主ゲート) 施設整備(主ゲート)	管理用道路、付帯施設・周辺整備等
増設洪水吐減勢工			一次減勢工部	二次減勢工部等		
建設発生土受入地						
環境保全措置等	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
・インフラツーリズムの開催						

※実施工程は、工事進捗に応じて変更する場合があります。

3. 環境巡視チェックシート

■ 環境巡視

【目的】

環境保全への取り組みについて、実施状況を確認するため、環境巡視を実施する。

【調査期間・時期】

- ・ 調査期間は工事期間中とする。
- ・ 原則として環境巡視は1ヵ月に1回実施。
※工事内容に応じて設定

早明浦ダム再生事業 環境巡視チェックシート

工事内容		巡視者所属	
記入日	年 月 日	巡視者氏名	

1. 工事の状況

進行中の工事内容	
----------	--

2. 環境保全措置等のチェック

環境保全措置		確認事項
大気質	散水	<input type="checkbox"/> 粉じんの発生源への散水は行っていますか？ <small>コメント</small>
	タイヤ洗浄	<input type="checkbox"/> タイヤ洗浄装置は、設置されていますか？ <input type="checkbox"/> 工事用車両・建設機械の洗浄は、実施していますか？ <input type="checkbox"/> 施工区出入り口や一般道路での清掃活動は実施していますか？ <small>コメント</small>
騒音・振動	低騒音・低振動型建設機械の採用	<input type="checkbox"/> 使用している建設機械は、超低騒音・低騒音型建設機械ですか？ <small>※確認方法：□ラベル（低騒音） □ラベル（超低騒音） <建設機械の種類等></small>
	騒音抑制工法等の採用	<input type="checkbox"/> バッチャープラント、濁水処理プラントの周囲に吸音パネルを設置していますか？ <input type="checkbox"/> 岩掘削作業には超低騒音アタッチメントを用いた油圧ブレード、バブルインジェクターを併用していますか？ <input type="checkbox"/> コンクリートミキサー車とトラックミキサー車の周囲には防音テントを設置していますか？ <small>コメント</small>
水質	濁水処理の状況	<input type="checkbox"/> 濁水処理装置・処理水に異常はありませんか？ <small>コメント</small>
	効率的な稼働	<input type="checkbox"/> 運搬車両が一箇所に集中しないように使用していますか？ <small>コメント</small>
共通	自動計測・電子掲示板	<input type="checkbox"/> 電子掲示板の計測値が基準値内ですか？ <small>コメント</small>
	森林伐採における配慮	<input type="checkbox"/> 森林伐採は片方向から段階的に行われていますか？ <small>コメント</small>
動物・植物・生態系	生物に配慮した夜間照明	<input type="checkbox"/> 夜間照明器具はルーバー付き照明器具やLED照明を使用されていますか？ <input type="checkbox"/> 照明角度は30°に制限されていますか？ <small>コメント</small>
	残存する生息・生育環境の攪乱に対する配慮	<input type="checkbox"/> 工事現場周辺の環境の攪乱に対する配慮が実施されていますか？ <input type="checkbox"/> ヒナランの生育地が保護されていますか？ <input type="checkbox"/> 残置したカンアオイ類の生育が維持されていますか？ <small>コメント</small>

【留意事項・質問等】

注)
 ・該当する項目に☑を入れてください。
 ・特記事項、疑問等がありましたら、□欄の下、空欄部分に記載してください。

3. 環境巡視チェックシート

■環境巡視のチェック項目（案）

環境保全措置		確認事項	
建設機械の稼働 工事用車両の通行	大気質	散水	<input type="checkbox"/> 粉じんの発生源への散水は行っていますか？
		タイヤ洗浄	<input type="checkbox"/> タイヤ洗浄装置は、設置されていますか？
			<input type="checkbox"/> 工事用車両・建設機械の洗浄は、実施していますか？
	<input type="checkbox"/> 施工区出入り口や一般道路での清掃活動は実施していますか？		
	騒音・振動	低騒音・低振動型建設機械の採用	<input type="checkbox"/> 使用している建設機械は、超低騒音・低騒音型建設機械ですか？ ※確認方法： <input type="checkbox"/> ラベル(低騒音) <input type="checkbox"/> ラベル(超低騒音)
		騒音抑制工法等の採用	<input type="checkbox"/> バッチャープラント、濁水処理プラント等の周囲に吸音パネルを設置していますか？
			<input type="checkbox"/> 岩掘削作業には超低騒音ブラケットアセンブリを用いた油圧ブレーカ、バブルサイレンサーを併用していますか？
	水質	濁水処理の状況	<input type="checkbox"/> 濁水処理装置・処理水に異常はありませんか？
		共通	効率的な稼働
			自動計測・電子掲示板
	動物・植物・生態系	森林伐採における配慮	<input type="checkbox"/> 森林伐採は片方向から段階的に行われていますか？
		生物に配慮した夜間照明	<input type="checkbox"/> 夜間照明器具はルーバー付き照明器具やLED照明を使用されていますか？
<input type="checkbox"/> 照明角度は30°に制限されていますか？			
残存する生息・生育環境の攪乱に対する配慮		<input type="checkbox"/> 工事現場周辺環境の攪乱に対する配慮が実施されていますか？	
	<input type="checkbox"/> ヒナランの生育地が保護されていますか？ <input type="checkbox"/> 残置したカンアオイ類の生育が維持されていますか？		

※環境巡視チェックシートは、上記のチェック項目のほか、項目ごとにコメント欄を設け、現地で気づいたことを記入できる様式としている。